

小3から片道一時間。ずっと通い続けて下さる S 君。今年は専攻科に通われる。お母様も教育熱心で、NPO の行事にも必ずご参加下さる。この行事が実は“味噌”なのである。YOU 倶楽部で練習した言葉や実技を実体験し、感覚で身に付ける本番に近い場なのだ。やはり行事に参加されるお子様方は、その後の進度や感性が社会的に適切で好ましく身にくスピードが早いと感じている。

お母様から「先日事業所の面談で聞きました」とご報告下さったお話。

毎日電車で事業所に通う S 君は、同じ時間に出会う同じ事業所の友達が、電車の中で品の無いことを言った。それで「そんなことを言うてはいけない」と友達に注意した。

だけど聞いて貰えなかった。

そこで彼は一駅を共にした後、電車を降りてその場から去った。つまり回避した。そして次にホームに入った電車で遅れることなく事業所に向かった。大きな花丸 🌸 だ!! 「よくやった!!」と傍に居た S 君を褒めた。

もうひとつ、事業所で騒ぐ友達に、「そんな態度ではいけない。今はそれをして良いのか?」と問い掛けたと。(この言葉はいつも私が子ども達の不適切な態度に対して問い掛ける言葉のひとつである) 下を向いていることが多い S 君だが、きちんと聞き取り、場を合わせて、考えて、覚えているのだ。

S 君は自閉症。"高機能"は付かない。日頃は聞かれると答えるが、自発的な発信はほとんど無い。そんな彼が誰にも指示されずに自己判断でそのような言葉を言われたとか。

このような言語で友達と日々を過ごしていますとお母様に教えて頂きました。

本当にブラボー!!とはこのことである!!

涙うるうる 😊 飛び上がる位嬉しかったです!!

今年一番の嬉しいお話 \ (^.^) /

以前ソーシャルスキルトレーニングでストーリーキューブ(サイコロに絵柄があり、その絵柄に即した空想話を作る遊び)を実施した。

1 回目は私が話を作ってモデルを示し、ペアになってゲームに参加した。

2 回目、彼は「出来ます!!」と、ひとりで空想話を作り上げた \ (^.^) /

この時も、え?みたいに度肝を抜かれたが。

子ども達には限りない力がある。

信じて常に励ます事だ。

それに気付かせてくれたのは、紛れもなく通って下さる子ども達。

障害、特に自閉症は繋がらない障害だと言われている。がしかし! この事実は研究発表や論文にふさわしい。それくらい素晴らしい出来事なのだ。

高校を自分で選び、合格した時のあの笑顔は忘れない。

いつもうつむき加減に部屋に入ってくる S 君は、顔を正面に上げて自信に満ち溢れ、満面の笑顔で、大きな声でしっかり私の目を見てこう言った。

「合格しました!!」

正に自己選択・決定の自己実現！

長い時間をかけて、様々な場において教育をインプットされ続けた結果、どの子どもも皆大きく成長され、しっかりした足取りで入って来られ、しっかり意見が言え報告が伝えられるようになって来られている。毎週、毎回、何と素晴らしい景色をプレゼントしてもらおうのだろう。感動感謝でしかない。

来年から、高等学校卒業後の事業所に通う青年達の放課後をサポートしようという話が持ち上がっている。

若く疲れを知らない若者達の事業所は早く終わる。体力を持て余している。午後3時で帰宅し、毎日こだわりのある一人遊びをする勿体ない時間を利用して、夕方までの時間を支援教育で更に充実させようという企画だ。定期的に友達と共に適切な支援を受け、好ましい青年達に仕立て上げる。そんな教室だ。

これは是非とも実現させたい。

とにかく時間がかかる子ども達。若い内に着手していかなければ、保護者亡き後何よりも本人が困るのだ。

これからもお子様と共に、勇姿の逸話👊を伺えるのを励みに、お子様と手を繋ぎ、ご家庭と連携し、正三角形△の関係を保ちながら共に歩み続けたい👣

